

なるほどの♪



学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報

今月のトピック紹介版

2月号

「めあて—まとめ・振り返り」のある授業づくりを検証 ～次なるステージに向けての手立て～

各学校では、今年度の授業実践についての振り返りや、校内研究のまとめに取り組まれていることと思います。本号では「めあて—まとめ・振り返り」のある授業づくりについて検証し、次なるステージに進むための具体的な手立てについて掲載しています。今年度の成果と課題を全職員で確認し、次年度の研究の構想を立てる際にお役立て下さい。

小学校新一年生が安心して登校できる体制づくり ～自治の力を生かした3学期の取組～

いよいよ新一年生が入学する時期が迫ってきました。小学校にとっても今年の学校生活を振り返りながら、さらに安心して通える学校にしていくために、子供目線での再点検をして4月に備えることが大切です。本号では在校生の「登校」の様子をもとに、自治の力を生かした取組事例を紹介しています。安心・安全を考える体制づくりの参考資料として御活用ください。

特別支援教育ほっと通信

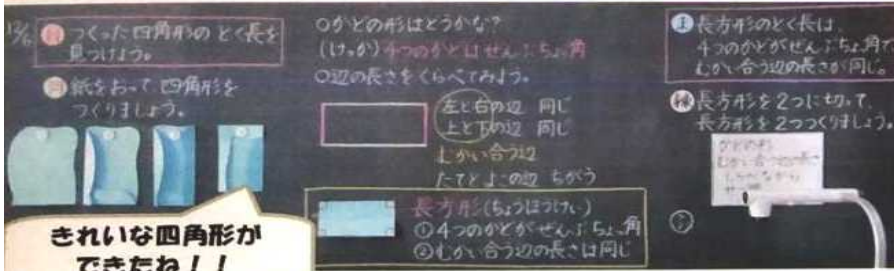
支援を必要とする子供たち一人一人に作成されている個別の指導計画について、具体的な目標設定のポイントを紹介しています。

教師の目に写る子供たちの困難さの裏には、様々な背景が見え隠れしています。その見えにくい課題や要因を的確に把握することで、具体的な目標設定が可能となり、適正な評価にもつながります。次の目標を立てる際にお役立てください。

「めあてーまとめ・振り返り」のある授業づくりを検証 ～次なるステージに向けての手立て～

H29校内授業研究会で見られた成果 → 「めあてーまとめ・振り返り」の定着

① つくった四角形のとく長を見つけよう。



「めあてーまとめ・振り返り」のある授業でおさえるべきポイントが、板書にも生かされています。



- 学習指導要領解説の指導事項の確認
- ゴールから考える授業づくり
- 「めあて」と「まとめ」の正対
- 考察の視点を示して「まとめ」と関連「角の形は?」「辺の長さは?」

〈米子市立和田小学校の実践より〉

次のステップ → 「まとめにつながる発問の工夫」と「全員が活躍できる授業づくり」

【現状】「めあてーまとめ・振り返り」を位置付けた取組が進む一方、①教師の説明中心で進む授業や、課題解決できた一部の子供の説明中心で進められるなど、②発言が一部の子供に偏る授業も見られます。

①教師の説明中心で進む授業

→発問により、本時のポイントを引き出し、子供の言葉でまとめる。

めあて 分母の違う分数を係数にふくむ方程式の解き方を考えよう
(中学校1年 数学「方程式」)

【問題】
$$\frac{1}{2}X - 4 = \frac{1}{3}X$$

まとめ 方程式の両辺に分母の最小公倍数をかけ、分母をはらって整数にして計算すればよい。

【ポイントを引き出すための発問例】

$$6 \times \left(\frac{1}{2}X - 4 \right) = 6 \times \left(\frac{1}{3}X \right)$$



T なぜ6をかけているのだろうか？

- C 分母を消すため。
- C 通分して計算するのは大変。分数を整数に直すと簡単だから。

T 6ってどんな数だろうか？

- C 6は、かけることで二分の一と三分の一を一度に整数にできる数。
- C 6は2と3の最小公倍数。

T 整数の項にも6をかけるのですか？

- C 方程式の両辺にかける必要があるの、整数の4にもかける。
- C すべての項に同じようにかける必要がある。

②発言が一部の子供に偏る授業

→より多くの子供にアウトプットの機会を保障する。



一度聞いただけで理解できる子供は多くありません。繰り返し自分の言葉で説明することで、理解が確かになります。

【取組例】

- ① 「同じ考えでもよいので、自分の言葉で発表してごらん」と複数の子供に発言を促す。
- ② 一つの発問に対し、一列全員が考えを述べる。
- ③ 子供が板書した式・図から、思考の流れや意図を他の子供が考え、説明するよう促す。(少なくとも2人に説明させる。)

全員が活躍できる授業づくりを目指す！

〈お知らせ〉

研究主任等情報交換会

- ◆日時 2月23日(金) 14:30-16:45
- ◆場所 西部総合事務所 講堂
- ◆主な内容

次年度の授業づくりのポイント
校内研究についての情報交換



小学校新一年生が安心して登校できる体制づくり

～自治の力を生かした3学期の取組～

いよいよ新一年生が入学する時期が迫ってきました。今年の学校生活を振り返りながら、さらに安心して通える学校にしていくために、子供目線での再点検を行い、4月に備えることが大切です。本号では在校生の「登校」を振り返りながら、安心・安全を考える体制づくりの取組事例を紹介します。

在校生の力を生かして安心・安全な学校づくり（例）

登校の様子を振り返り、新一年生が安心して登校できるようにしよう！

1. 情報を収集する

- 在校生へのアンケートを実施する
 - ・通学路にある危険な場所
 - ・雨（雪、風）の日に困ったこと
 - ・集団登校（徒歩、バス）で困ったこと

思いもかけぬ
ヒヤリポイントが
明確に！

- アンケートやボランティア等の聞き取りを一覧表にまとめる

一方で、日々登校や下校を見守ってくださる地域の方、ボランティア等から、気になることを聞き取っておくことも大切です。



2. 防災マップに整理する

- 危険場所を確認する
 - ・シールがたくさん貼られたところは一層注意が必要
 - ・新一年生にも伝えて、安心して通学できるようにしたい

実際に学習で児童が作成したものを活用すると、課題解決意識も向上します。



3. 子供の気付き・提案を今後の活動に生かす

- 対応策を考える

直接新一年生に関わる方法

視覚化 防災マップの工夫

信号を書き
加えよう

実際の写真を撮
って貼ろう

防災マップをプ
レゼントしよう

信号のない交差点の渡
り方を再確認しよう

狭い道ではすぐそ
ばを車が通るよ

体験した危険を自分たち
の言葉で発表しよう

- 活動可能な場を考える 「自分たちで説明しよう」

子供会を利用し
たらどうかな。

交通安全教室も
あるぞ。



4. 具体的活動を実施する

- 地区別子供会（3月～入学までに）
 - ・実際の登校をイメージし役割を確認する。
 - * 新一年生の見本となる歩き方等を確認する
 - * 新一年生宅に手紙を持っていき顔合わせをする
 - * 集合場所や迎えの時間を確認する

- 交通安全教室（4月）
 - ・経験したヒヤリ体験を伝える。
 - * 安全な歩き方、横断歩道の渡り方等を新一年生と一緒にやってみる
 - * 集団下校で一緒に歩き、危険な場所を目と防災マップで確認する

社会に開かれた教育課程

これらの取組を学校の枠を超えて、地域人材やボランティアの方々に広げること考えられます。社会に開かれることで、さらに安心・安全な学校づくりが実現します。





「支援を必要とする子供たち一人一人に作成されている個別の指導計画の作成の仕方や活用の方法がわからない。」といった相談を受けることがあります。今回は、個別の指導計画の具体的な目標設定のポイントについて御紹介します。

【冰山モデル】

具体的な目標を設定するためには、的確な**実態把握**が必要！

目に見える
「困難さ」

- ・乱暴で、物をよく壊す。
- ・友達とトラブルを起こしやすい。

人とのかかわり方が未熟

見えにくい課題
見えにくい要因

語彙が乏しい 認知が低い 自信喪失
興奮しやすい 人に対する信頼感が乏しい
力の加減がわからない

見えにくい課題・見えにくい要因にアプローチする → 学習の基盤となる部分を指導する

目に見える**行動**(海面に出ている氷)は、
様々な**背景**(海面下に隠れている巨大な氷)によって引き起こされています！

「困難さを引き起こす要因は何か？」を考えることを大切に！



【目標設定のポイント】

的確な**実態把握**

具体的な目標設定を行うためには、
「**条件**」「**行動**」「**基準**」の3つの要素が示されていることが大切！

具体的な目標を設定することが、適正な評価につながります！

具体的な**目標設定**

指導内容・指導方法・指導場面
などの明確化

適正な評価

「**条件(状況)**」とは・・・

利用される環境や教材、支援の質を明らかにする内容

「**行動**」とは・・・

評価ができる行動を示す「動詞」の記述

「**基準**」とは・・・

許容できる達成度の基準点、標準点

(短期目標例) **毎日の着替えの練習を通して、一人で服を着る。**

「**条件**」「**基準**」が示されておらず
→ **評価困難**・・・
支援の再検討！

条件

いつ？

条件

手立ては？

条件

どのような形状？

基準

どのくらいの時間で？

行動

何ができる？

3つの要素をもとに修正してみると・・・

(修正短期目標例) **登校してすぐ、絵カードを見ながら、一人でTシャツを10分以内に**着る。****

支援の再検討！

なぜできなかったのか？

条件

基準

行動

◆評価が可能に！

できなかった・・・ → **できた!**

◆次につながる支援が可能に！

・絵カード → 文字カード ・Tシャツ → ボタン付きのシャツ
・10分以内 → 8分以内

子供が**確実な力を身に付ける!**